

# カメラをコントロールする

本機はマイクの指向性が切り替わると、その位置に合わせたカメラのカメラ位置番号をSERIAL端子経由でカメラに送信できます。カメラ側はその位置番号に合わせてカメラ位置をパン(移動)するため、本機の話者位置認識機能に同期して、カメラが話者を撮影できるようになります。

## 対応カメラ

- キヤノンVC-C50i (2006年6月現在)
- 他のカメラの対応状況については、プロジェクトフォンのホームページ(<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>)をご覧ください。

## 1. カメラ側でメモリNo.ごとにカメラ位置を登録する

- 1 メモリされているプリセットを消去する。
- 2 カメラと映像機器と接続して、カメラ映像を確認できるようにする。
- 3 PJP-100UHと接続しない状態で、カメラの電源を入れる。
- 4 リモコンのMENUキーを押す。  
メニューが表示されます。
- 5 「SET MENU」を選んでから、SET/OKキーを押す。
- 6 「RESTORE DEFAULT」を選んでから、SET/OKキーを押す。
- 7 「SET」を選んでから、SET/OKキーを押す。

## 8 マイクビーム位置に応じたカメラ位置を登録する。

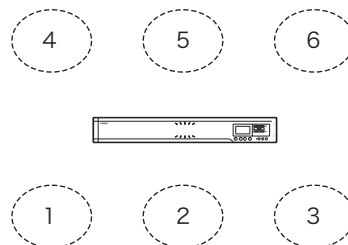
- パン位置：<、>キーで調節します。
- チルト位置：^、vキーで調節します。
- ズーム：ZOOMのTおよびWキーで調節します。

## 9 SET/OKキーを押す。

カメラのLEDが点滅します。

## 10 カメラ位置を登録したい番号(1~6)キーを押す。

本機の收音エリアとカメラのメモリNo.の関係は、以下の通りです。



番号キーを押すと、LEDが点灯に変わります。

## 11 手順8~10を繰り返して、他のメモリNo.も登録する。

### 💡 ヒント

- 異なる話者位置を同じカメラ位置に登録したい場合は、複数のメモリに同一位置を登録します。
- カメラを動かしたくない話者追尾位置がある場合は、該当するメモリNo.が登録されていない状態のままにします。

---

## 2.PJP-100UHとカメラを接続する

- 1 PJP-100UHの左側面にあるSERIAL端子とカメラを、RS232Cケーブルで接続する。
- 2 PJP-100UHを再起動する。

---

## 3.PJP-100UHの設定を変更する

- 1 初期画面から「メニュー」→「環境設定」→「カメラ追尾」を選んで、カメラ追尾の設定を「する」に変更する。
- 2 必要に応じて、カメラ追尾の設定を調整する。
  - 話者が会話をやめてから、カメラが戻り位置に戻るまでの時間を設定する：初期画面から「メニュー」→「環境設定」→「カメラ追尾」→「カメラ戻り時間」を選んで、時間を指定します。
  - 話者が会話をやめた時に、カメラのパンが戻る位置を指定する：初期画面から「メニュー」→「環境設定」→「カメラ追尾」→「カメラ戻り位置」を選んで、カメラ側のメモリNo.の位置を指定します。
  - カメラの追尾感度を指定する：初期画面から「メニュー」→「環境設定」→「カメラ追尾」→「カメラ追尾感度」を選んで、感度を指定します(設定値が高いほど、すばやく追尾するようになります)。